

# おもしろい本 みつけたよ



発行日 平成 10 年 7 月 10 日

発行 富山市 P T A 連絡協議会

編集 良書をすすめる会

## 低学年におすすめ

だいせつなのは、かじり

『きつねものがたり』

ヨセフ・ラタ作  
うちだりきこ訳

ことばやもじを知っている、か  
しこいきつねくん。かんちがいし  
たり、しっぱいしたり。でも、知  
恵と正直な心でさいごは……。きつ  
ねくん、かんばれ。

(福音館書店 本体1,500円)

きつねものがたり



ヨセフ・ラタがきくえん うちだりきこがやく

おぼけの本と悪つたり、

『海のおぼけオーリー』

マリイ・ホール・エッツ作  
石井 桃子訳

アザランの子のオーリーが、お  
母さんと引きはなされて、いろい  
ろな体験をしてゆく。絵がコマお  
くりのように、次々につながって  
いくので、わかりやすい。

(岩波書店 本体1,200円)



こんな森つてあるつ

『へんてこもりにいこうよ』

たかどのほうこ作

子どもたちがしりとりをしたら、  
本ものの動物がでてきてびっくり。  
そのうえ、わけのわからないこと  
ばをいったら、それも本当に出て  
きてしまう。

(借成社 本体900円)

へんてこもりにいこうよ



ぼく、いわばなつちやつた

『ロバのシルベスターとまほうのこいし』

ウイリアム・スタイング作  
せたていじ訳

赤いまほうの小石をみつけ  
てから、とんでもない事件が  
おきる。いつもの自分である  
ことのありがたさが、しみじ  
みとつたわってくる。

(評論社 本体1,300円)



ねこのオーランド

『ねこのオーランドー農場をかう』

キャサリン・ヘイル作  
脇 明子訳

きせつのもやしやしゅうかくの  
よるこびをかんじながら、ねこの  
オーランド一家が、どんな農場  
をりっぱにしてゆく。絵は、にぎ  
やかでたのしめる。

(童話館出版 本体1,800円)

ねこのオーランド



農場をかう

どつぽつかまぐのお父さん

『ペニーさん』

この本は、かぞくつてなにかを  
教えてくれる。そして、だれでも  
やろうと思ったら、できないこと  
はないんだということを、伝えて  
くれる。せひ、よんでみてね。

マリイ・ホール・エッツ 作訳  
松岡 享子 訳  
(徳間書店 本体1,300円)



中学年におすすめ

へんなおじさんのへんな話

『天からふってきたお金』

アリス・ケルジー文

和田 誠 絵

岡村 和子 訳

むかしトルコに、ナスレットディン・ホジャという、とんちの上手なおじさんがいた。その間ぬけぶり、ユーモアたっぷり。

(岩波書店 本体1,550円)

天からふってきたお金



アリス・ケルジー文 和田誠絵

事件だ、事件だ、大事件！

『お江戸の百太郎』

那須 正幹 作

長野ヒデ子 訳

お江戸。岡っ引きの息子百太郎が、大人顔まけの名推理で難事件を次々に解決。仲間と力をあわせて悪をこらしめる。

(岩波書店 本体1,262円)



あなたも入学してみよう？

『魔女学校の一年生』

ジル・マーフィ作

松川 真司 訳

魔女学校に入学した、ミルドレット。失敗ばかりの、とんでもない子。でもある日、一やく学校のヒーローに。すこしの勇気が、自分をかえる。

(評論社 本体1,068円)



トブネズミVS大イタチ

『冒険者たち ガンバと15ひきの仲間』

斉藤 惇夫 文

藪内 正幸 絵

強者のイタチに、知恵と勇気で立ち向かうネズミたち。激しい戦いの中で、トブネズミのガンバが知った友情。さて、どうやって、勝利を手に入れたのか？

(岩波少年文庫 本体700円)



とんでもない大ぼけけん

『火よう日の「ちそうはひきがえる』

ラッセル・E・エリクソン文

ローレンス・D・フィオリ 絵

佐藤 涼子 訳

ひきがえるが、雪の野原でフクロウにつかまり、誕生日のこちそうにされそうになるが...

(評論社 本体1,000円)



家出先は美術館

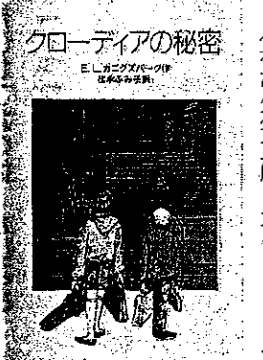
『クローディアの秘密』

E・L・カニクスバーグ 作

松永ふみ子 訳

家出して、弟と美術館で暮らすはじめた少女クローディアは、そこでミケランジェロの天使像のなぞに出会う。秘密の生活となぞの解明をとおして、彼女がえたものは...

(岩波少年文庫 本体600円)



ひっこみじあんの君に

『ふしぎな木の木の料理法』

岡田 淳 作

無口な少年スキッパーに小包でとどいた木の美。それをきっかけに、森のふしぎな仲間と出会った彼の心はだんだん開いていく。

(理論社 本体1,456円)



すてきなお話27編

『ムギと王さま』

エリナー・ファージョン 文

エドワード・アーティンニ 絵

アンデルセン賞にかがやいた子どものお話。心にしみいるファンタジーの世界。豊かな時間を、親子で楽しんで。

(岩波書店 本体1,748円)



とくもすてきなファンタジー

『みどりのゆび』

モーリス・ドリュエオン 作

安藤 次男 訳

読めば、思わず親指をかべにおじつけたくなる話。みどりのゆびって一体なに？あなたの心にも、みどりのやすらぎがおとずれる。

(岩波少年文庫 本体600円)



わるい大人をやっつけろ

『マチルダはちいさな大天才』

ロアルド・ダール 文

クエンティン・ブレイク 絵

少女マチルダには、超能力があった。ある日その力に気がついたマチルダは、意地悪な校長をこらしめ、無理解な大人たちをやっつける。

(評論社 本体1,553円)



高学年におすすめ

中学生におすすめ



『ザ・ギバ 記憶を伝える者』  
ロイス・ローリー 作  
掛川 恭子 訳  
感情が抑制された、管理社会の中で、「記憶を受けつぐ者」に選ばれた少年ジョーナス。夢があふれる理想の社会をもとめて「記憶を伝える者」とともに、大活躍する。  
(講談社 本体1,400円)



『かべにプリンをうつけろ』  
クリスティーネ・ホストリンガー 作  
平野 郷子 訳  
気になる転校生とチャージングな主人公。二人は自然環境運動に参加するが、とうとうそれが大騒ぎに。世の中に対する、少女の本音がよくわかる。  
(ほるぷ出版 本体1,456円)



『だれが君を殺したのか』  
イリーナ・コルシヌワ 作  
上田 真子 訳  
この物語を読んで、青春のなんともいえない感覚がふっともどってきた。いろいろな思いや悩みにあふれていた。それらは、答えが出ないかもしれないけれど、中学生のあなたに今ぜひ読んでほしい本。(岩波書店 本体1,359円)



『あのころはフリードリヒがいた』  
ハンス・ペーター・リヒター 作  
上田 真子 訳  
ナチスが台頭した時代になんてドイツ人とユダヤ人の友情はあった。どんな時だって、人を思う気持ちを持ち続けたい。  
(岩波少年文庫 本体640円)

富山市PTA連絡協議会『良書をすすめる会』って、なに？

この会は、富山市P連の公募により集まった、22人の親たちで発足しました。そして、昨年12月より子どもたちに手渡したい良い本について、学習会を重ねてきました。

とくに今年度は、長い間子どもたちに支持されてきた本を読み合いました。

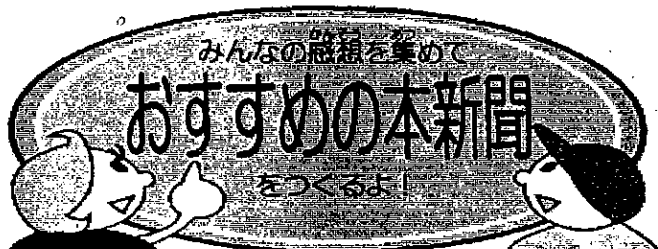
その中から自分自身が感動したり、子どもたちにぜひ読んでもらいたいと思った本を、学年ごとにわけて23冊選びました。

その23冊を紹介したのが、このリーフレットです。ぜひご活用ください。

良書をすすめる会委員

- |                   |                     |                   |
|-------------------|---------------------|-------------------|
| 委員長 江藤 裕子 (山室中部小) | 副委員長 坂井 祐子 (大泉中)    | 副委員長 村上 和恵 (八人町小) |
| 書記 山之上孝子 (清水町小)   | 書記 田中 美弥 (附属小)      | 委員 堀地はるみ (総曲輪小)   |
| 委員 中村 純子 (清水町小)   | 委員 若栗 清子 (東部小)      | 委員 竹内 勤子 (新庄小)    |
| 委員 新屋 洋子 (新庄小)    | 委員 西幸 尚子 (藤ノ木小)     | 委員 大西裕美子 (堀川小)    |
| 委員 村石 祐子 (鱈川小)    | 委員 今井まり子 (鱈川小)      | 委員 泉田 寿子 (鱈川小)    |
| 委員 堀 幸子 (東部中)     | 委員 呉羽まゆみ (東部中)      | 委員 吉本 曉美 (奥田中)    |
| 委員 石田 明男 (呉羽中)    | 担当副会長 島田久美子 (富山市P連) | 委員 早坂 陽子 (富山市P連)  |
| 委員 山崎真理子 (富山市P連)  |                     |                   |

みんなの感想を聞かせてね



みんなの学校の図書室にはられます

読んだ本の中から、おもしろかった本の感想や紹介文を「おすすめの本カード」に書いて、夏休みが終わったら、担任の先生か学校司書に出して下さい。

ここで紹介していない本の感想でもいいですし、カードがたりなかったら他の紙に書いてもいいです。たくさん応募して下さいね。

また、保護者の方の感想もぜひお寄せください。お待ちしております。

中学生におすすめ

生死をかけた魔法使いとの戦い

『クラバート』

プロイスラー 作

中村 浩三 訳

水車小屋で働くようになったクラバートが、邪悪な権力のワナにはまっただ。さて、そこから抜け出すためにとった、思いもよらない手段とは……

(偕成社 本体1、456円)



紅の翼をもつ兎の体験

『ラマー 愛と魂への旅』

ダレルT・ヘア 作

灰谷健次郎 訳

生きることって、つらいと考え出したら、心がささくれだって、もっと自分がいやになったことない？ そんな時優しい気持ちにさせてくれる本。大人もぜひ。

(飛鳥新社 本体1、456円)

不思議な世界の神話

『ジーク 月のしずく日のしずく』

斉藤 洋文

小澤 摩純 絵

ロールプレイングゲームを本の中で楽しんでみよう。祖国を守った勇者の物語。

(偕成社 本体1、400円)



おすすめの本書カード

あなたが友だちにすすめたい本はみつかった？  
かんそう\*しょうかい\*イラストなんでもかいていいよ

書名

(本のなまえ)

作者

(かいた人)

おもしろかったところ

小・中 学校

年 なまえ